
	学校だより	令和7年1月9日	
	ときめきにあふれ、個性が光り合う、 あったかい学校づくり	NO. 39	

「乙巳(きのとみ)」の年！「変革」と「成長」の年に！

新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

新しい年を迎え、そして新しい学期を新たな気持ちでスタートすることができました。1月8日(水)の始業式の式辞において、子どもたちには「干支(えと)」の話をしました。その一部を紹介します。

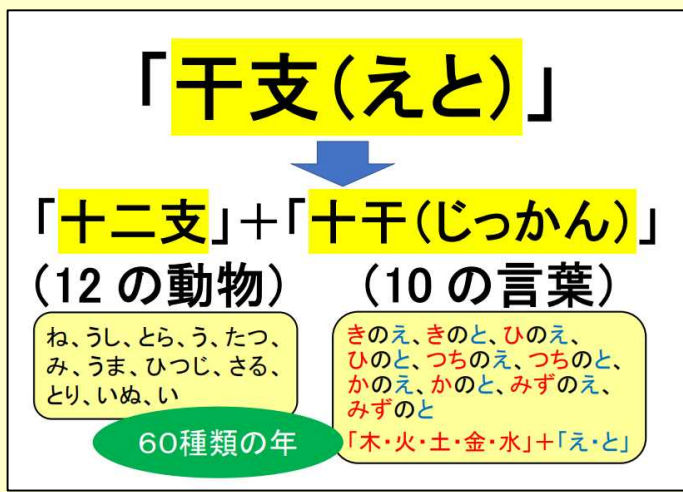
今年「巳年(みどし)」、つまりへびの年です。これは「十二支」の1つの年。古代中国から日本に伝わった思想ですが、私たちにとってなじみ深いものでもあります。「ね、うし、とら、う、たつ、み、うま、ひつじ、さる、とり、いぬ、い」の12種類の動物を聞いたことがあるかと思います。また、年を表す以外では、今は使われなくなりましたが、かつては時刻や方位にも利用されていたそうです。

さらに、「干支(えと)」という言葉もあります。これは、先ほどの「十二支」に加えて「十干(じっかん)」と呼ばれる10種類の言葉を組み合わせた数え方です。「きのえ、きのと、ひのえ、ひのと、つちのえ、つちのと・・・」のように、自然に関係する「木、火、土、金、水」の5つに、「え」と「と」を交互に合わせた10種類の言葉。これに「十二支」である12種類の動物を順に組み合わせると、全部で60種類の年ができあがります。

したがって、2025年の「干支(えと)」は、巳年ですが、十干(じっかん)と合わせると60年に一度の「乙巳(きのとみ)」の年となります。

この考えに基づくと、「きのと」は芽吹き始めたばかりのエネルギッシュな木。「み」はへびのように脱皮を繰り返す「変化」と「成長」を象徴するもの。つまり、今年新しい挑戦をする時期としては最適であり、成長していく土台を築く年になることが期待できるそうです。今年、「変革」と「成長」の年。まさにそのような一年になってほしいと思います。

信じるか信じないかは1つの思想ですから自由です。ただ、事を起こすためには、その第一歩が必要であり、信じて動こうとする思いが強い人ほど、「変革」や「成長」の可能性はぐんと高まるはず。新しい年に際して、皆さんには、これからの自分に対して「信じて」「強い思い」をもって、まず第一歩となる「新しい挑戦」をしてほしいと思います。



また、新年の幕開けに伴い、1・2年生は部活動、3年生は学習の診断など、いち早く学校生活を始動させています。子どもたちの「新しい挑戦」に期待しています。

